

2025年度第1回 川崎市PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

事業名	包括管理業務委託など学校施設管理に係る民間活用手法の検討について
事業所管課	教育委員会事務局教育環境整備推進室
実施日時	令和7年5月28日（水）、令和7年5月30日（金）、令和7年6月2日（月）
参加事業者	全15者
対話方式	個別対話
意見交換会における主な意見等	
①市場性のある事業規模について ・対象エリア ・拠点について ・契約年数	【対象エリア】 ・全市一括（複数）（エリアを分けるとエリア毎に対応が異なる部分が出るため、自治体や市内事業者の負担が増える。） ・2～3のエリアに分ける（複数）（全市一括になると担える包括事業者が限られる。準備の時間も不足する。） 【拠点について】 ・全市一括の場合、拠点は2か所設ける。（複数） ・複数エリアに分ける場合、拠点はエリア毎に1か所設ける。（複数） ・市側が用意をしなくても自社の施設等を拠点として活用できる。（複数） 【契約年数】 ・5年がよい。5年以上は物価上昇リスクの考慮が必要となる。（複数） ・5年以上がよい。10年以上は物価上昇リスクの考慮が必要となる。（複数）
②対象とする業務の範囲	・麻生区モデルの事業範囲でよい。（複数） 【含めたほうがよい業務】 ・自家用電気工作物点検（複数）・機械警備（複数）・カーテン清掃・建物総合管理・害虫駆除・廃棄物処理 【含めないほうがよい業務】 ・自家用電気工作物点検（複数）・建物総合管理（複数）・学校用務業務
③市内事業者の活用等	・修繕業務や維持管理業務について市内事業者の活用を想定している。（複数） ・市内事業者が対応できない一部の業務については、市外事業者を活用する。（複数） ・市内事業者の理解促進のため市内事業者向けに業務開始前には説明会を開催する。 ・包括管理になると大企業の関係会社等が活用される懸念がある。 ・市外事業者を含めることで競争が生まれサービスレベルが上がる可能性がある。 ・民間活用を進めるあたり、市内事業者や自治体等で対話ができる場があると望ましい。
④現在の麻生区モデルに対する効率化に向けたアイデア等	・施設管理システムを活用し、修繕データ等を記録、管理する。（複数） ・遠隔監視システム等の導入で異常の検知、劣化状況の把握等を行う。（複数） ・包括管理に修繕業務を含めることは適切ではない。（スケールメリットが出ないほか、修繕の状況等を市が把握できなくなる懸念がある。） ・複数年の再委託契約を導入することでコストを抑える。（複数） ・民間活用を進めるあたり、市内事業者や自治体等で対話ができる場があると望ましい。

意見交換会における主な意見等

⑤その他の民間活用手法の可能性について	・包括管理の手法でよい。（複数） ・ソフト面でも教員の負担軽減策を提案できる。 ・ESCO事業（ガス管理）と組み合わせることで効率化が可能。 ・フルメンテナンスを導入することで効率化が可能
⑥その他要望等	・包括事業者についても市内事業者優先となるのか。（複数）（早めに条件を把握したい。） ・エレベーター点検についてはメーカー以外の事業者も対応可能 ・公園と学校の施設管理の違いは給食設備の有無程度であり自社の経験を生かせる。
今後の対応	
今回いただいた御意見を参考にしながら、検討を進めて参ります。	

※上記内容については、参加事業者の承諾を得られたもののみ公表しています。

【お問合せ先】

教育委員会事務局教育環境整備推進室

電話：044－200－0753

メール：88seibi@city.kawasaki.jp